

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 一般向け電話相談推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2588)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 766 千円 (前年度予算額：766 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	766	0	0	0	0	0	0	0	766
要求額	766	0	0	0	0	0	0	0	766
決定額	766	0	0	0	0	0	0	0	766

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・一般向け電話相談事業とは、住民が急な病気やけがの際、救急車を呼んだ方がいいのか、今すぐ病院に行った方がいいのかなどについて、医師等からアドバイスを受けることができる専用電話窓口 (共通短縮ダイヤル#7119) を設置するもの。
- ・事業実施により、住民の安心・安全の担保は勿論、救急車の適正利用 (軽症者の割合の減少、不急の救急出動の抑制など) の効果が期待できる。
- ・県内には、当該事業を実施している市町村は無く、県は一般向け電話相談事業の普及を推進する必要がある。

(2) 事業内容

- ・令和3年10月に、岐阜市が一般向け電話相談事業 (#7119) の事業を開始したことを受け、県内全域で令和4年度以降の一般向け電話相談事業 (#7119) の導入を推進するため、関係者 (消防本部、市町村保健衛生部局、地域医師会等) 間の協議会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県が直接実施する

(4) 類似事業の有無

- ・ 類似事業なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	223	協議会出席者旅費、職員旅費
報償費	420	協議会参加者報償費
需用費	123	消耗品費、会場借り上げ料
合計	766	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県保健医療計画（第7期）

第3部－第2章－第6節救急医療対策－7今後の施策

救急車の適正利用を推進し、救急性の低い出動を抑制するため、事前に医師等電話相談を受け付ける救急安心センター事業（#7119）や一般向け救急電話相談事業の導入を検討します。

(2) 国・他県の状況

- ・ 12都府県及び5地域で実施（令和2年10月1日現在）

(3) 後年度の財政負担

- ・ 事業内容を検証し、必要に応じ見直し等の検討を行う。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 保険医療計画上に導入を検討することが明記されており、県が事業主体であることは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 一般向け電話相談事業（#7119）の事業が県全体で導入できるような体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、一般向け電話相談事業（#7119）の普及の推進のための事業であり、目標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	<p>一般向け電話相談事業（#7119）は、消防車の適正利用を促すだけでなく、適切な医療の提供にも資するものであり、消防庁が開催した救急医療のあり方に関する検討会においても、県が関与すべきと提言されており、導入推進事業の必要性は高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各関係機関で導入に向けて、具体的な導入内容や時期等を議論していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 関係機関と協議を行いながら、導入に向けて議論を進めていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	